

# 日本で最も豊かな都道府県はどこ！ 経済的豊かさ上位の福井 東京が47位という衝撃の結果

日本で最も豊かな都道府県はどこだろうか？

豊かさといったら東京。だから地方から東京に人が流出する。これが地方の人口減少の要因の一つと言われる。最低賃金を見ても、東京は全国平均902円のところ1013円と47都道府県で一番高く、青森や沖縄など最低賃金が最も低い県と比べて200円以上も開きがある。仕事の数が多く、賃金も高い東京に、豊かさを求めて人が集まるのも納得の理由である。福井県も東京の大学に進学した女性のウターン率が低いことが課題として挙げられている。

ところが、令和3年に国交省が衝撃的な分析結果を発表した。中間層に限れば、東京の経済的豊さはなんと全国最下位だというのだ。

単身や経営者などは除き2人以上の勤労者世帯すべてを対象に、給料の総支給額から税金や社会保険料などを差し

引いた「可処分所得」でランキングを作ると、東京が1位と思いきや…。

## 【可処分所得】

1位富山県 46万4635円  
2位福井県 44万9794円  
3位東京都 43万6475円

高額所得者が多い地域では平均値が引き上げられるため、可処分所得の上位40〜60%の中央世帯だけで可処分所得

ランキングを作り直すと、東京は12位まで順位を大きく落とす。中央世帯に限れば、東京より、富山、三重、山形、茨城、福井、愛知、神奈川、埼玉、京都、新潟、岐阜のほうが、可処分所得は高い。つまり中間層にとっては、東京は必ずしも豊かな地域ではないということだ。

## 【中央世帯可処分所得】

1位富山県 42万262円  
2位三重県 41万6264円  
3位山形県 40万8972円  
福井県の中央世帯可処分所得は5位の40万6266円。

しかも、東京は食料費、家賃、光熱水道費など基礎支出が全国で最も高く、最も低い大分県より約7万5000円も差がある。そのため可処分所得から基礎支出を差し引くと、東京は12位から42位まで下がる。さらに、通勤時間を費用換算して差し引くと東京は47位、つまり最下位という衝撃的な結果となった。

福井県の中央世帯の可処分所得から基礎支出を差し引くと25万532円の5位。

これは令和3年に国土交通省国土政策局が経済的な面から算出したデータであり、中間層に絞ると東京が突出して豊かではなく、地方と同じ水準であることを表している。

福井ではキャリアを活かせない。刺激が少ないなど都会を求める若者も多い。豊かさを感じる場所は人それぞれだが、福井が経済面から見ると暮らしやすいことは間違いない。